

# 時間的な対比を表す半過去について

川 島 浩 一 郎

## 0. はじめに

(1) の *j'avais peur...*, (2) の *j'étais belle...*, (3) の *elle était carrément jolie* における半過去記号素の用法は「時間的な対比」を表すことだと考えてよい<sup>1</sup>.

- (1) *J'avais peur de ne plus jamais aimer ; à présent j'ai peur d'aimer pour toujours.* (Frédéric Beigbeder, *L'Égoïste romantique*, Collection Folio, 2005, p.184)
- (2) *Avant, j'étais belle naturellement, maintenant, avec l'âge, je me déguise à être belle.* (Agnés Abécassis, *Chouette, une ride !*, Collection Le Livre de Poche, 2009, p.135)
- (3) *Maman est toujours belle mais là, elle était carrément jolie.* (Marc Levy, *Le voleur d'ombres*, Collection Pocket, 2010, p.54)

(1) の *j'avais peur...* における動詞が半過去形なのは、*à présent j'ai peur...* との時間的な対比を提示するためである。同様に (2) の *j'étais belle...* では、現在形の動詞による *je me déguise à être belle* との時間的な対比を表現するために、半過去記号素が用いられている。そして (3) の *elle était carrément jolie* における半過去記号素の用法もまた、*maman est toujours belle* との時間的な相違を表示することだと考えられる。

本稿の主な目的は、たとえば (1), (2), (3) でのような「時間的な対比」を表す半過去記号素を観察することによって、半過去記号素が過去時制であることを確認することである。

何らかの意味特性を X と記号化して表現すれば、過去時制である半過去記号素は「過去時制 + X」であるか (たとえば「過去時制 + 未完了特性」など)、単なる

「過去時制」であるかのどちらかである<sup>2</sup>。「時間的な対比」を表す半過去記号素の存在は、半過去記号素が「過去時制 + X」ではなく、X が欠如した単なる「過去時制」であることを明瞭に示している。

## 1. 動詞カテゴリ：時制とアスペクト

### 1.1. 大過去における半過去と複合過去の共起

次の (4), (5), (6) に見られるように、半過去記号素と複合過去記号素が共起した状態が、大過去と呼ばれる連辞である<sup>3</sup>。

- (4) *Il connaissait cette fille. Il l'avait déjà croisée. Il lui avait déjà parlé.* (Guillaume Musso, *L'appel de l'ange*, Collection Pocket, 2011, p.205)
- (5) *Elle portait l'ensemble gris qu'il lui avait acheté.* (Boileau-Narcejac, *Sueurs froides*, Collection Folio, 1958, p.175)
- (6) *Quand il était rentré, la télévision bourdonnait toujours.* (Fred Vargas, *Dans les bois éternels*, Collection J'ai lu, 2006, p.162)

半過去記号素と複合過去記号素が相互排除せずに共起できるという事実は、これらが同一の文法クラスの成員ではないことを示している<sup>4</sup>。実際、半過去記号素が時制クラスの成員であるのに対して、複合過去記号素はアスペクトと呼ばれるクラスの成員であると考えられる<sup>5</sup>。

### 1.2. 複合過去記号素：完了アスペクト

複合過去記号素は本質的に、事態の完了を標示する完了アスペクトである。

- (7) *J'ai quitté Laurent hier.* (Agathe Hochberg, *Mes*

<sup>1</sup> いわゆる半過去形の動詞には、動詞記号素と半過去記号素が含まれる。

<sup>2</sup> 半過去記号素は「過去時制 + 完了特性」でもなければ「過去時制 + 未完了特性」でもない。詳しくは川島 (2012a) を参照。

<sup>3</sup> いわゆる複合過去形の動詞には、動詞記号素と複合過去記号素が含まれる。

<sup>4</sup> 複数の記号素、たとえば X と Y が発話の他の部分に対して同じ統辞関係を持ち、かつ相互に排除する関係にあるとき、この X と Y は同一のクラスに属すると言われる。

<sup>5</sup> 半過去記号素 (時制) と複合過去記号素 (アスペクト) の関係は、いわゆる現在形を間に入れることで、よりよく理解できる。詳しくは川島 (2006) を参照。

*amies, mes amours, mais encore ?*, Collection Pocket, 2005, p.104)

- (8) Elle *est partie* depuis combien de temps ? (Sébastien Japrisot, *Compartiment tueurs*, Collection Folio, 1962, p.144)
- (9) Je t'appelle dès que je *suis arrivée*, [...]. (Maxime Chattam, *La théorie Gaïa*, Collection Pocket, 2008, p.25)
- (10) Quand elle *a* un peu *bu*, elle parle de vous. (Sébastien Japrisot, *Piège pour Cendrillon*, Collection Folio, 1965, p.146)

(7) から (10) に見られる複合過去記号素は、どれも事態の完了を標示していると言ってよい。また (9) や (10) において明らかであるように、複合過去記号素によって標示される事態は、必ずしも過去時点で完了した事態ではない。複合過去記号素の使用は時間的な制約を受けないのだから、これを時制と考えることはできない。

### 1.3. 半過去記号素：過去時制

半過去記号素は本質的に、事態の過去性を標示する過去時制に他ならない。

- (11) Le patron *est* un ami. (Brigitte Aubert, *Funérarium*, Collection Points, 2002, p.20)
- (12) Le patron *était* un ami, [...]. (Thierry Jonquet, *Du passé faisons table rase*, Collection Folio, 2006, p.214)
- (13) Je ne *sais* pas. (Amélie Nothomb, *Cosmétique de l'ennemi*, Collection Le Livre de Poche, 2001, p.96)
- (14) Je ne *savais* pas. (Fred Vargas, *Un peu plus loin sur la droite*, Collection J'ai lu, 1996, p.164)

(11) と (12) の違いは、事態に過去性があるかないかである。半過去記号素を用いた (12) の *le patron était un ami* には、(11) の *le patron est un ami* にはない過去性が与えられている。同様に (13) の *je ne sais pas* に単に過去性を加えたものが、(14) の *je ne savais pas* である。(12) や (14) における半過去記号素の意味機能は、動詞が表す事態に過去性を与えることであって、それ以上でも以下でもない。

## 2. 現在完了としての複合過去記号素

次の (15), (16), (17) に見られるように、複合過去記号素の使用は、現在時点における完了状態（現在完了）に対応することができる。

- (15) Depuis combien de temps tu n'*as pas dormi* ? (Maxime Chattam, *L'âme du mal*, Collection Pocket, 2002, p.325)
- (16) Mathilde *est déjà rentrée* chez elle. (Tonino Benacquista, *Saga*, Collection Folio, 1997, p.274)
- (17) J'*ai toujours détesté* les mardis. (Frédéric Beigbeder, *Windows on the World*, Collection Folio, 2003, p.197)

(15), (16), (17) はどれも、現在時点で経験される事態に言及した文であると考えてよい。ただし、複合過去記号素が、つねに「現在完了」の標示であるわけではない。

- (18) Celui qui n'est plus ton ami ne l'*a jamais été*. (Guillaum Musso, *Je reviens te chercher*, Collection Pocket, 2008, p.243)
- (19) Il revient toujours parce qu'il *a oublié* quelque chose. (*Mes amies, mes amours, mais encore ?*, p.125)
- (20) Une vie se présume autant par ce qu'elle *a apporté* que par ce qu'elle *a manqué* en route. (Katherine Pancol, *Les yeux jaunes des crocodiles*, Collection Le Livre de Poche, 2006, p.220)

たとえば (18), (19), (20) は、特定の時点で経験されるような、個別の事態に言及した文ではない。したがって (18), (19), (20) での複合過去記号素が、現在時点の完了状態に対応していると考えすることはできない。(18), (19), (20) の複合過去形は「現在完了」ではなく、単なる「完了」の標示だと理解すべきである。

## 3. 時間的な対比を表す半過去記号素

次の (21) から (26) に見られるように、半過去記号素が、もっぱら時間的な対比を提示するために用いられることがある。

- (21) Avant j'*étais* un danger pour eux, aujourd'hui je suis une honte. (Tonino Benacquista, *Malavita encore*, Collection Folio, 2008, p.332)
- (22) Jadis elle *était* révolutionnaire, maintenant elle est dépassée. (Bernard Werber, *Les fourmis*, Collection Le Livre de Poche, 1991, p.273)
- (23) Les analyses d'ADN n'*étaient* pas en application il y a dix ans mais elles le sont aujourd'hui. (*Cosmétique de l'ennemi*, p.93)
- (24) Hier on *respectait* les aînés, aujourd'hui on valorise les jeunes, demain on redécouvrira les

vieux. (*Chouette, une ride !*, p.261)

- (25) Autrefois tu *avais* trop d'amis et maintenant tu n'en as plus. (Frédéric Beigbeder, *99 francs (14,99 euros)*, Collection Folio, 2000, p.85)
- (26) Il y a un arbre dans le jardin, mais il n'y *était* pas hier. (Fred Vargas, *Debout les morts*, Collection J'ai lu, 1995, p.8)

たとえば (21) の *j'étais un danger pour eux* には、動詞が現在形の *je suis une honte* との時間的な対比がある。同様に (22) の *elle était révolutionnaire* における半過去記号素は、*elle est dépassée* との時間的な対比を表現するためのものである。

- (27) Il y a quelques mois, Monica Bellucci *donnait* naissance à la petite Deva. Aujourd'hui, toujours aussi belle et voluptueuse, la jeune maman raconte à Catherine Roig sa découverte d'une nouvelle vie et d'une nouvelle féminité. (*Elle*, 7 mars 2005, p.149)
- (28) Avant, cela le *bouleversait*. Maintenant, il *avait* seulement très mal à la tête. (Fred Vargas, *Ceux qui vont mourir te saluent*, Collection J'ai lu, 1994, p.128)
- (29) Il est vrai que cela est dur de voir mourir aujourd'hui ce que, hier, on *serrait* dans ses bras. (Albert Camus, *Caligula* suivi de *Le malentendu*, Collection Folio, 1958, p.30)

(27) の Monica Bellucci *donnait* naissance à la petite Deva における半過去記号素の存在理由も、la jeune maman raconte... との時間的な対比の枠組みで捉えるべきである。(28) において、時間的な前後関係にある cela le *bouleversait* と il *avait* seulement très mal à la tête の両方に半過去記号素が現れてよいのは、これらが時間的な対比の文脈で使用されているからだと考えられる。また (29) の on *serrait* dans ses bras での半過去記号素が、特定の過去時点ではなく、一般的な「時間的な先行性」概念に対応できているのは、(29) が時間的な対比の文脈だからに他ならない。

- (30) Je suis chez moi ! Enfin, *j'étais*. (Marc Levy, *Et si c'était vrai...*, Collection Pocket, 2000, p.37)
- (31) Je suis flic, [...], enfin, *j'étais*... (Guillaume Musso,

*Que serais-je sans toi ?*, Collection Pocket, 2009, p.219)

- (32) — Parce que c'est votre femme, [...] — *C'était*, [...]. (*Dans les bois éternels*, p.59)

(30) と (31) の *j'étais* や (32) の *c'était* における半過去記号素は、事態が属する時間を、現在時点から過去時点に訂正するためにのみ使用されている。これらのように、もっぱら時間的な対比を表現するためだけに使われた半過去記号素の役割りは、動詞が表す事態に過去性を付与することであって、それ以上でも以下でもありえない。ここでは、事態の所属が過去時点であるかそうでないかという、時間的な相違しか問題となっていないからである。そして時間的な相違を標示することは、時制という文法カテゴリーの意味機能そのものである。これらの事実は、半過去記号素が、単なる「過去時制」であることを明瞭に示している。もし半過去記号素が「過去時制 + X」(X は何らかの意味特性) であったならば、単なる時間的な対比にとって X の存在が邪魔になってしまう。

半過去記号素の用法に「過去時制 + X」として解釈可能な事例があったとしても(解釈としては可能である)、その一方で、時間的な対比だけを表す単なる「過去時制」としての用法が存在する以上、この X が半過去記号素にとって非恒常的・偶発的な、したがって非本質的な要素であることは自明である。半過去記号素は「過去時制 + X」ではなく、単なる「過去時制」であると考えざるをえない<sup>6</sup>。

## 4. 発話時点の事態への言及

### 4.1. 過去時点と現在時点の非連続性

過去時制である半過去記号素を含む動詞は (3. を参照)、現在完了に対応できる複合過去形とは違って (2. を参照)、現在時点での事態がどうであるかを積極的に提示することができない<sup>7</sup>。半過去記号素をとまなう動詞は、過去時点において成立していた事態を表現することができる。この事態が、現在時点でも維持されているかいないかは、文脈や状況から判断するしかない。

半過去形の動詞が表す過去時点での事態は、現在時点で維持されていなくてもよい。半過去記号素が対応するのは、あくまでも過去時点の事態だからである。時間的な対比を表す用法は、半過去記号素のこの性質を利用したものと考えられる。

<sup>6</sup> 半過去記号素が「過去時制」そして単純過去記号素が「過去時制 + 完了特性」であるならば、半過去記号素を無標の項、単純過去記号素を有標の項だと考えることができる。つまり半過去記号素は、半過去記号素と単純過去記号素の共通部分であるということになる。

<sup>7</sup> いわゆる「非現実」に対応するとされる用法においても、半過去記号素が過去時制であることに変わりはない。詳しくは川島 (2012b) を参照。

- (33) Autrefois les mariages *résistaient* à ce genre de passades. Aujourd'hui les mariages sont des passades. (Frédéric Beigbeder, *L'amour dure trois ans*, Collection Folio, 1997, p.155)
- (34) Avant, j'*étais* idiot. (*Ceux qui vont mourir te saluent*, p.15)
- (35) On *était* amis, c'est vrai, mais c'était il y a longtemps... (Guillaume Musso, *Seras-tu là ?*, Collection Pocket, 2006, p.244)
- (36) — Tu *étais* si jolie avant ! — Tu ne me trouves pas jolie, comme ça ? (Amélie Nothomb, *Robert des noms propres*, Collection Le Livre de Poche, 2002, p.159)
- (37) Je n'y *croyais* guère non plus, jusqu'à maintenant. (Dean Rey Koontz, *Miroirs de sang*, Collection Pocket, 1977, p.87)
- (38) Franchement, tu *avais* le goût meilleur, autrefois. (*Caligula* suivi de *Le malentendu*, p.127)
- (39) Enfant, elle *parlait* peu, encore moins qu'aujourd'hui. (Anna Gavalda, *Ensemble, c'est tout*, Collection J'ai lu, 2004, p.55)
- (40) A l'époque on *croisait* moins de Russes qu'aujourd'hui à Paris. (Frédéric Beigbeder, *Au secours pardon*, Collection Le Livre de Poche, 2007, p.286)

たとえば (33) における les mariages résistaient à ce genre de passades という過去時点の事態は, les mariages sont des passades に見られるように, 現在時点においては維持されていない。(34) の j'étais idiot や (35) の on était amis は, 現在時点ではそうでないことを前提とした発話である。(36) での tu étais si jolie avant という発話は, 対話者に, 現在時点ではそうではないのかという疑いを抱かせている。(37) から (40) においても同様に, 半過去記号素を含む動詞が表す過去時点の事態が, 現在時点においては維持されていないことが観察される。

#### 4.2. 過去時点と現在時点の連続性

半過去記号素をともなった動詞によって表現される(過去時点で成立していた)事態が, 現在時点にあっても変わらずに維持されていることがある。半過去記号素は過去時点での事態に対応しているだけだから, その事態が現在時点においても継続していることを, 積極的に否定することができないのである。

- (41) Elle s'*appelait* Mathilde. Elle s'appelle toujours Mathilde d'ailleurs. (Anna Gavalda, *Je l'aimais*, Collection J'ai lu, 2002, p.76)

- (42) J'*avais* encore la voiture de Georgette, je l'ai toujours. (*Compartment tueurs*, p.149)
- (43) La vie *était* dure dans ce pays, elle l'est toujours aujourd'hui, [...]. (Marc Levy, *La première nuit*, Collection Pocket, 2009, p.253)
- (44) Ah ! vous *étiez* là ! (Serge Brussolo, *La nuit du venin*, Vauvenargues, 2006, p.114)
- (45) Je te laisserai même me réexpliquer pourquoi Jérôme et toi vous êtes séparés. C'*était* bien Jérôme son prénom, hein ? (Marc Levy, *Le premier jour*, Collection Pocket, 2009, p.84)
- (46) C'est ce que je *croyais* alors, et je le crois toujours. (Ernest Hemingway, *Paris est une fête*, Collection Folio, 1964, p.36)
- (47) Il ne faut pas plaisanter avec ces types, je le *savais*. (*Saga*, p.432)
- (48) La traversée de Bruxelles fut une aventure. Là-bas aussi on *parlait* le français, [...]. (Marc Levy, *Toutes ces choses qu'on ne s'est pas dites*, Collection Pocket, 2008, p.118)
- (49) Ethan songea à la théorie du chaos, [...] : une petite cause *pouvait* avoir des effets inattendus. (*Je reviens te chercher*, p.213)

たとえば (41) の elle s'appelait Mathilde という過去時点の事態は, elle s'appelle toujours Mathilde に見られるように, 現在時点でも維持されている。(42) において, j'avais encore la voiture... という過去時点の事態が現在時点においても維持されていることは, je l'ai toujours によって示されている。La vie était dure dans ce pays という過去時点の事態は, 現在時点においては維持されている可能性も維持されていない可能性もあるが, (43) では elle l'est toujours の存在によって, 維持されている事態として提示されている。(44) のように vous étiez là ! と言えるのは, 対話者が今も目の前にいるからである。(45) の c'était bien Jérôme での半過去記号素の存在は, この人物の名前が変化したことを意味しない。同じく (46) から (49) においても, 半過去記号素を含む動詞が表す過去時点の事態が, 現在時点でも維持されていることが観察できる。

#### 4.3. まとめ

半過去記号素を含む動詞によって表示された「過去時点の事態」は, 現在時点において維持されることもあれば, 維持されないこともある。つまり半過去記号素を使用すると, 現在時点の事態に積極的に言及することができなくなる。半過去記号素の用法には, 複合過去記号素の場合と違って (2. を参照), 時間的な制約があるのである。この事実は, 半過去記号素が時制であることと矛

盾しない。

## 5. まとめ

過去時制である半過去記号素を含む動詞は「現在時点での事態」がどうであるかに、積極的に言及することができない。半過去記号素が標示するのは、事態の過去性だからである。半過去形の動詞が表示する「過去時点の事態」が、現在時点でも変わらずに維持されているかいないかは、文脈や状況から判断するしかない。実際、半過去形の動詞によって表示された事態は、現在時点において維持されていることもあれば、されていないこともある。時間的な対比を表す用法は、半過去記号素のこの性質を利用したものである。

半過去記号素は、時間的な対比のみを表現することができる。これは、半過去記号素が単なる過去時制だからに他ならない。その意味では、時間的な対比を表す用法の存在は、半過去記号素が「過去時制 + 何らかの意味特性」ではなく、単なる「過去時制」であることを明瞭に示していると言ってよい。

### [参考文献]

- 阿部宏 (1989) 「Je t'attendais 型の半過去について」『フランス語学研究』23, 日本フランス語学会, pp.55-59.
- 安西記世子 (2006) 「語りにおける複合過去に関する一考察」『シンポジオン — 高岡幸一教授退職記念論文集 —』朝日出版社, pp.3-12.
- 川島浩一郎 (2005) 「フランス語の「現在形」をめぐる一考察」『福岡大学研究部論集』A5-1, pp.13-28.
- 川島浩一郎 (2006) 「フランス語の複合過去と半過去に関する一考察 — 時制とアスペクトの間接的対立 —」『福岡大学研究部論集』A6-3, pp.37-61.
- 川島浩一郎 (2012a) 「半過去と未完了解釈 — 完了か未完了かの区別を含意しない過去時制 —」『福岡大学人文論叢』43-4, pp.817-833.
- 川島浩一郎 (2012b) 「過去時制と非現実解釈」『ふらんぼー』37, 東京外国語大学フランス語研究室, pp.17-35.
- 前島和也 (1997) 「時制と人称：半過去の場合」『フランス語フランス文学』25, 慶應義塾大学, pp.117-144.
- MARTINET, André (1979), *Grammaire fonctionnelle du français*, Didier.
- MARTINET, André (1985), *Syntaxe générale*, Armand Colin.
- 松澤水戸 (2011) 「日本人初級フランス語学習者の過去2時制の選択 — 複合過去と半過去 —」『ふらんぼー』36, 東京外国語大学フランス語研究室, pp.34-52.
- 塩田明子 (1996) 「半過去と話の「場」」『ふらんぼー』23, 東京外国語大学フランス語研究室, pp.23-40.
- 渡瀬嘉朗 (1985) 「動詞の「時」と「相」」『フランス語学の諸問題』三修社, pp.38-49.
- 渡瀬嘉朗 (1990) 「「未完了」特性について」『東京外国語大学論集』41, pp.23-38.
- 渡瀬嘉朗 (1994) 「Actuel と Inactuel — 「現在」と「半過去」, 「大過去」 —」『東京外国語大学論集』48, pp.43-58.
- 渡瀬嘉朗 (1995) 「時制の理論のために — 文意の分析と時制の対立 —」『東京外国語大学論集』50, pp.35-50.
- 渡瀬嘉朗 (1998) 「二つの過去形 — 意味の枠組みの明確な過去, 枠組みのない過去 —」『フランス語を考える フランス語学の諸問題II』三修社, pp.8-21.
- 渡邊淳也 (2012) 「叙想的時制と叙想的アスペクト」『文藝言語研究言語篇』61, 筑波大学, pp.191-234.
- 渡辺佳奈 (2009) 「フランス語における「現在形」のステータス — 有標の項の結束点としての無標の現在形 —」『フランス文学論集』44, 日本フランス語フランス文学会九州支部, pp.1-17.
- 山村ひろみ (2006) 「アガサ・クリスティの推理短編小説における過去の表現 — フランス語とスペイン語の対照の観点から —」『比較社会文化』12, 九州大学, pp.39-56.

\* 本稿は、とくに渡瀬の諸論文 (参考文献を参照) に触発・啓蒙されて執筆した。もちろん間違いや誤解のすべては筆者自身のものである。

